

米子市は

ひらがなの読みの向上を応援します！



小学校1年生の
保護者のみなさまへ



ひらがなが読めることは、小学校1年生にとって、とても大切です。
そして、これから先の学びを支える学力の基礎となります。
米子市では、平成29年度より「T式ひらがな音読支援」を取り入れた音読指導を行い、児童の読みの力を伸ばし、学校生活をより楽しく豊かなものにしていこうと取り組んでいます。



T式ひらがな音読支援とは…

鳥取大学・小枝研究室が開発したものです。
読みにくい文字や、誤って読んでしまう文字を、個別指導によって減らすことができ、多くの子どもたちの読みが改善されたというデータが得られています。

年に3回（6月，11月，1月～2月）音読確認を行い、タブレット端末を用いたひらがな読みの練習を個別に行っていきます。1日5分間、できれば、連続21回（日）行うことが理想とされています。



読めると…いいことたくさん！

言葉の意味が
分かるように
なります。

文章がすらすら
読めるよう
になります。

授業がよく分か
り、学ぶことが楽
しくなります。

本を読むこと
が好きになり
ます。



学校って楽しいな

よしがんばるぞ！

国立研究開発法人
国立成育医療研究センター副院長 ころの診療部長
小枝 達也 先生より

この「T式ひらがな音読支援」によって一人でも多くの子どもたちの音読がスムーズになったり、文字や本を好きになったりすることを期待しています。

